２０２７年度４月期入学
京都大学大学院薬学研究科
博士課程（４年制）学生２次募集要項

本研究科の博士課程は大学院設置基準第４５条に定める標準修業年限が４年の博士課程である。

※本学生募集要項に関して、追加事項等がある場合、薬学研究科ホームページにて随時周知しますので、出願前によく確認してください。

アドミッション・ポリシー

薬学研究科は、諸学問領域の統合と演繹を通じて世界に例を見ない創造的な薬学の“創”と“療”の拠点を構築し、先端的創薬科学・医療薬学研究を遂行して人類の健康の進展と社会の発展に大きく貢献することを目標としています。本研究科では、医療薬学領域で世界をリードできる薬学研究者と、高度な専門知識・技能と適正な態度を有する指導的薬剤師・医療従事者の育成を目指しています。そのためには、強い責任感、使命感と高い倫理性、体系的・先端的な知識と技能、それらを柔軟に活用する力、新たな知的価値を創出する力、科学・技術および広汎な社会的課題について複数の解決策を提示できる力、幅広い視野と教養により研究成果を世界に向けて発信・説明できる力が必要です。このような目標のもと、薬学研究科は、以下のような学生を求めています。

１．創薬化学、生命薬科学、医療薬科学、臨床薬学に関する専門知識を持っている人
２．国内外の薬学関連分野の研究者や医療関係者と議論してコミュニケーションできる理解力、思考力、表現力を持っている人
３．既存概念にとらわれず新しい学問・研究に対して、主体的に考え、情報収集し、問題解決することに意欲を持つ人
４．医療薬学の研究を通じて、問題解決に貢献し、社会の発展に寄与するという責任感、使命感、倫理観のある人

上記のポリシーを実現するため、入学者選抜においては、以下のような評価方法を用いています。各評価方法の比重等詳細については、募集要項に明記しています。

１．専門知識を評価するための筆記試験
２．英語能力を評価するための筆記試験
３．口頭試問

１．募集人員　若干名（薬学専攻）

出願を希望する者は「薬学研究科募集分野一覧」を確認の上、あらかじめ分野主任に問い合わせてください。

２．出願資格　次の各号のいずれかに該当する者

（１）大学における薬学、医学、歯学又は獣医学を履修する課程（修業年限が６年であるものに限る。）を卒業した者及び２０２７年３月３１日までに卒業見込の者
（２）外国において、学校教育における１８年の課程を修了した者及び２０２７年３月３１日までに修了見込の者※
（３）外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における１８年の課程を修了した者及び２０２７年３月３１日までに修了見込の者※
（４）我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における１８年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者及び２０２７年３月３１日までに修了見込の者※
（５）外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が指定するものに限る。）において、修業年限が５年以上である課程を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了

すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。）により、学士の学位に相当する学位を授与された者及び２０２７年３月３１日までに授与見込の者

（６）文部科学大臣の指定した者（昭和３０年４月８日文部省告示第３９号）

① 旧大学令（大正７年勅令第３８８号）による大学の医学又は歯学の学部において医学又は歯学を履修し、これらの学部を卒業した者

② 防衛省設置法（昭和２９年法律第１６４号）による防衛医科大学校を卒業した者及び２０２７年３月３１日までに卒業見込の者

③ 修士課程又は学校教育法（昭和２２年法律第２６号）第９９条第２項の専門職大学院の課程を修了した者及び修士の学位の授与を受けることのできる者並びに前期２年及び後期３年の課程の区分を設けない博士課程に２年以上在学し、３０単位以上を修得し、かつ，必要な研究指導を受けた者（学位規則の一部を改正する省令（昭和４９年文部省令第２９号）による改正前の学位規則（昭和２８年文部省令第９号）第６条第１号に該当する者を含む。）で大学院又は専攻科において、大学の医学を履修する課程、歯学を履修する課程、薬学を履修する課程のうち臨床に係る実践的な能力を培うことを主たる目的とするもの又は獣医学を履修する課程を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者

④ 大学（医学を履修する課程、歯学を履修する課程、薬学を履修する課程のうち臨床に係る実践的な能力を培うことを主たる目的とするもの及び獣医学を履修する課程を除く。）を卒業し、又は外国において学校教育における１６年の課程を修了した後、大学、研究所等において２年以上研究に従事した者で、大学院又は専攻科において、当該研究の成果等により、大学の医学を履修する課程、歯学を履修する課程、薬学を履修する課程のうち臨床に係る実践的な能力を培うことを主たる目的とするもの又は獣医学を履修する課程を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者

（７）本研究科において、個別の入学資格審査により、（１）と同等以上の学力があると認めた者で、２０２７年3月３１日までに２４歳に達するもの

※外国の大学を卒業並びに大学院を修了した者、及び外国において修士の学位を取得した者は、事前確認のため、そのことを証明する書類を２０２６年１２月７日(月)午後５時までに薬学研究科教務掛へ提出すること。

また、出願資格（６）④、（７）により出願を希望する者は、出願に先立ち出願資格の審査を行うので、次の申請書類を２０２６年１２月７日(月)午後５時までに薬学研究科教務掛へ提出すること。申請書類の様式は薬学研究科教務掛へ連絡して取り寄せること。

【出願資格審査】

出願資格（６）④
- 出願資格認定申請調書
- 在職証明書：研究所等の長の証明による。民間企業等の場合は、研究所に配属されていた期間を明記していること。
- 最終学歴に関する証明書：卒業（修了）証明書、成績証明書
- 志望理由書及び研究業績調書

出願資格（７）
- 出願資格認定申請調書
- 最終学歴に関する証明書：卒業（修了）証明書、成績証明書
- 志望理由書及び研究業績調書

３．出願手続等

出願手続は、出願期間内に「インターネット出願システムでの出願登録」、「入学検定料納入」、「必要書類の提出」をすることにより完了する。

インターネット出願システムのページには、以下の URL からアクセス可能。
https://kjs.gakusei.kyoto-u.ac.jp/pharm4doc2027-2

- **インターネット出願登録・入学検定料納入期間：２０２６年１２月２２日(火)～２０２７年１月７日(木)１７時**
- **必要書類受理期間：２０２７年１月６日（水)～７日(木)１７時**

郵送による場合は受理開始日以前の発信局消印のある書留郵便に限り、期限後に到着した場合で

も受理する。

（1）出願書類

角形２号の封筒（２４０㎜×３３２㎜）の表面に後述（2）の宛名を記載し、全ての出願書類を封入し郵送又は持参してください。また、下記書類はインターネット出願の際にデータでも提出すること。

(ｱ) 入学願書	出願登録完了後、インターネット出願システムから印刷すること。
(ｲ) 成績証明書 (ｳ) 卒業・修了(見込)証明書	出身大学（学部）長が作成したもの。 ただし、本学薬学部卒業（見込）の者は不要。 大学院修士課程を修了した者（見込者を含む）は、修士課程の成績証明書も提出すること。
(ｴ) 入学検定料	入学検定料　３０，０００円 【本学大学院修士課程・専門職学位課程修了見込者は不要、国費留学生の合格者は後日返還】 支払い方法は、インターネット出願時に以下のいずれかを選択。 ※入学検定料の他に決済手数料が必要。 最終的な料金は決済システム画面で確認すること。 ・クレジットカード（出願者本人名義でないクレジットカードでも支払可能） ・コンビニ決済（国内向け） ・銀行決済（ペイジー決済）（国内向け） 本学が指定する災害による災害救助法適用地域において、主たる家計支持者が被災した者で、罹災証明書等を得ることができる場合は、入学検定料を免除することがあります。 （参考）入学検定料の免除について https://www.kyoto-u.ac.jp/ja/admissions/examination-fee/fees-exemption 詳しくは、１２月８日(月)までに薬学研究科教務掛へ問い合わせてください。
(ｵ)TOEFL iBT スコアレポート	TOEFL iBTスコアレポート（Test Taker Score Report)の原本、あるいはETSアカウントからダウンロードしたPDFファイルを印刷したものを提出すること。詳細は「７．英語の学力評価について」を参照のこと。
(ｶ) その他	注１．参照

注１．① 現在病院、官公庁、企業等に在職中の者について
合格後、在職のまま入学する場合には、入学手続時に本研究科の研究指導を受けることに支障がないよう配慮する旨記載された代表者又は所属長の発行する書類を提出しなければならない。なお、薬剤師免許を持っている者は、願書の「免許・資格」欄にその登録番号を記入すること。
② 外国人留学生は、在留資格、在留期間及び在留カード等の番号が記載された住民票を提出すること。在留カードの表裏写しでも可。
③ 出願者は、出願前に志望分野の分野主任と必ず連絡を取ること。

（2）出願方法

(ｱ) インターネット出願登録と入学検定料納入後、前記出願書類を**「〒６０６－８５０１　京都市左京区吉田下阿達町　京都大学　薬学研究科教務掛」**宛てに提出又は郵送すること。
(ｲ) 郵送による場合は、必ず**書留郵便**とし、封筒の表に**「博士課程２次入学願書」**と朱書すること。
(ｳ) 出願書類等受理後は、出願事項の変更は認めない。また、入学検定料の払いもどしはしない。

４．安全保障輸出管理について

京都大学では、「外国為替及び外国貿易法（外為法）」に基づいて「京都大学安全保障輸出管理規則」を定め、貨物の輸出、技術の提供（人の受入を含む）について、学生受入前に厳格な審査を実施

している。規制事項に該当する場合や、在留資格認定証明書（COE）不交付もしくは審査長期化の場合、試験に合格しても入学が認められない場合がある。また、入学後であっても、希望する教育や研究指導等に制限が生じる可能性があるので、注意すること。

５．障害等のある受験者に対する合理的配慮について

本研究科では、障害等があって受験に配慮を必要とする入学志願者からの相談を受け付ける。受験上、配慮が必要な場合は協議するので、１２月１１日(金)までに、薬学研究科教務掛へ申し出ること。

６．入学者選抜方法及び試験科目・試験日程

受験票は願書受理期間後（１月１９日(火)以降）にインターネット出願システムよりダウンロード可能となるので、印刷し、持参すること。

（１）試験科目

外 国 語　　英語（配点：２００点）：ＴＯＥＦＬ　ｉＢＴの成績を換算して評価する。

専門科目　　下記のうちから１科目を事前に選択し志願票に記載すること。（配点：２００点）

薬品分子化学	オルガネラ情報学	ウイルス制御学
老化感染制御学	生体機能化学	数理治療薬学
臨床薬学教育	生命量子分析学	医療薬剤学
生体分子計測学	システムバイオロジー	

口頭試問　　（注１）

（注１）口頭試問の結果、外国語及び専門科目の成績如何に関わらず不合格となることがある。

（２）試験日程

年月日	試験時間	試験科目	試験会場
２０２７年 ２月１０日(水)	１１：００～１２：００	専門科目	薬学研究科講義室等
	１３：３０頃～	口頭試問	薬学研究科講義室等

７．英語の学力評価について

・ＴＯＥＦＬ　ｉＢＴスコアレポート（Test Taker Score Report）の成績により英語の学力を評価する。
・各自でＴＯＥＦＬ　ｉＢＴテストの申込手続きを行い受験すること。受験に必要な費用は各自で負担すること。
・ＴＯＥＦＬ　ｉＢＴ(Internet-based Test)のみを有効とする。
ＴＯＥＦＬが実施する他の試験（団体試験であるＴＯＥＦＬ-ＩＴＰなど）は認められないので注意すること。
・２０２５年２月１０日以降に受験したＴＯＥＦＬ　ｉＢＴテストの成績を有効とする。
・後日書類に不正が認められた場合には合格を取り消す。
・ＴＯＥＦＬ　ｉＢＴスコアレポートを提出できない場合は英語の得点が０点となるので注意すること。
・出願者は余裕をもってＴＯＥＦＬ　ｉＢＴテストを受験しておくこと

８．合格者発表　　※電話等による照会には応じません。
２０２７年2月１５日(月)１０時頃インターネット出願システムの合格発表で通知する。

９．入学料及び授業料　【国費留学生の合格者は後日返還】
入学料　　**２８２，０００円**
授業料　**前期分　２６７，９００円　（年額　５３５，８００円）**
※入学料及び授業料は予定額なので、改定されることがある。
※入学時及び在学中に改定された場合には、改定時から新入学料及び新授業料が適用される。
※納付時期等については合格者への入学案内送付（２０２７年３月上旬頃）により通知する。
※本学大学院修士課程・専門職学位課程修了見込者は、入学料は不要。

１０．個人情報の取扱いについて
出願書類等に記載されている、氏名、性別、生年月日、住所、その他の個人情報（成績判定に関する情報を含む）は、①入学試験の実施、②入学者の受入準備・入学手続き等、③奨学金制度の目的において、「京都大学における個人情報の保護に関する規程」の定めるところにより取り扱う。

１１．入学試験情報開示について
博士課程における入学試験の成績について、受験者本人からの請求があれば成績を開示する。受験した翌年の４月以降に教務掛窓口で申請を受け付け、開示期間は入学年度内とする。

２０２６年１１月

京都大学大学院薬学研究科
〒６０６－８５０１　京都市左京区吉田下阿達町
（０７５）７５３－４５１４（薬学研究科教務掛）
http://www.pharm.kyoto-u.ac.jp/

2027年度4月 博士課程（4年制）2次募集分野一覧

研究分野名	分野主任教員名		募集希望有無
薬品合成化学	高須清誠	教授	×
薬品分子化学	中寛史	准教授	○
薬品機能解析学	津川裕司	教授	×
構造生物薬学	小川治夫	教授	×
精密有機合成化学	未定		×
オルガネラ情報学	関根史織	教授	○
ウイルス制御学	橋口隆生	教授	○
病因免疫学	伊藤能永	教授	×
老化感染制御学	中臺枝里子	教授	○
多細胞システム学	井垣達吏	教授	×
生体機能化学	今西未来	教授	○
数理治療薬学	山下富義	教授	○
臨床薬学教育	平大樹	准教授	○
疾患分子制御学	木村寛之	教授	×
生命量子分析学	天滿敬	教授	○
病態機能分析学	小野正博	教授	×
薬剤設計学	樋口ゆり子	教授	×
シグナル薬理学	井上飛鳥	教授	×
医療薬剤学	寺田智祐	教授	○
生体分子計測学	石濱泰	教授	○
システム微生物学	ROBERT, Martin	准教授	×
薬理ゲノミクス・ゲノム創薬科学	平澤明	准教授	×
創薬有機化学	大野浩章	教授	×
システムバイオロジー	土居雅夫	教授	○
ｼｽﾃﾑｹﾐｾﾗﾋﾟｰ（制御分子学）	掛谷秀昭	教授	×
組織形成動力学	倉永英里奈	教授	×
代謝ゲノム薬学	木村郁夫	教授	×
生命知識工学	馬見塚拓	教授	×
バイオインフォマティクス	緒方博之	教授	×
ケミカルバイオロジー	上杉志成	教授	×

研究内容は薬学研究科ホームページを参照すること